

# 平成26年度学力調査・生活学習意識調査 並びに学習状況調査の結果概要について

奥出雲町教育委員会

## ◎各校の学力にのびはみられるが、小学校高学年以上に課題

### (1) 県学力調査の結果

- 小学校3年生…国語・算数とも県平均を上回る。
- 小学校4年生…国語・算数とも県平均を上回る。
- 小学校5年生…国語・社会・算数・理科とも県平均を下回る。
- 小学校6年生…社会・理科とも県平均を下回る。(国語・算数は全国調査があり未実施)
- 中学校1年生…国語・社会・算数・理科とも県平均を上回る。
- 中学校2年生…国語・社会・算数・理科・英語とも県平均を下回る。
- 中学校3年生…理科は県平均を上回り、社会・英語は県平均を下回る。(国語・数学は全国調査があり未実施)

### (2) 全国学力調査の結果

- ※国語・算数・数学とも、Aは主として「知識」、Bは主として「活用」に関する問題
- 小学校6年生…国語Aは県・全国平均を下回り、国語Bは県平均を上回り全国平均を下回る。算数はA Bともに県・全国平均を下回る。
- 中学校3年生…国語はA Bともに県・全国平均を上回る。数学はA Bともに県・全国平均を下回る。

## ◎メディア接触等の基本的な生活習慣の確立に課題

### (1) 生活・学習意識調査(県調査)並びに学習状況調査(全国調査)の概要

- 家庭学習の時間は、普段や休日に1日1時間以上行う割合で小中学校とも県・全国を上回る。
- 読書時間は、1日1時間以上読む割合で、県・全国をやや下回る。
- テレビ等の視聴やゲーム時間、インターネットや携帯電話・スマートホン等のメディア接触の時間は、県・全国を下回る。
- 朝食を毎日食べている割合は、県・全国を上回る。
- 就寝や起床は、毎日同じくらいの時刻に寝起きしている割合で県・全国を下回る。

### (2) 調査結果における傾向と課題

基本的な生活習慣の確立や自尊感情の育成、また、地域の行事への参加なども学力向上に関与していると考えられる。家庭学習や読書の仕方については、質的向上という視点から改善が望まれる。メディア接触では、テレビ等の視聴やゲームの時間が2時間以上と答えた割合は、小学校3年生で20%、小学校4年生から中学校3年生で40~50%となっており、1日当たりの接触時間を減らす取組が必要である。また、近年急増しているLINEを含め、携帯電話やスマートフォン、通信機能を持ったゲーム機の利用について、ルールやマナーづくりが課題である。

## ◎授業力向上(指導力)と家庭・地域との連携による学力向上

今回の調査結果を踏まえ、確かな学力向上に向けた授業の改善に加え、家庭での学びの充実(家庭での学びを崩す要因の排除も含める)等の全町を挙げての確実なる実践に向け、次の6点を重点に学力向上対策を推進する。

- 1 学ぶ意欲と一人一人に応じた学び方を育てる。
- 2 学力調査においても人格形成・健康づくりを基盤において、数ポイントのアップを図る。
- 3 各校で「学力調査」の分析・考察を行い、学力向上プランの改善を図る。(具体化・焦点化)
- 4 各中学校区ごとに一貫した向上策に取り組む。
- 5 校内における教員同士の学び合いを大切にして、指導力の向上を図る。
- 6 家庭・地域と連携した取組を推進する。

## 晩秋の奥出雲で健脚競う ~第64回仁多郡駅伝競走大会~



▲スタートの様子

伝統の仁多郡駅伝競走大会が十一月二十三日、横田地域で開催されました。大会には一部(支部対抗)に九チーム、二部(一部以外)に八チームが参加。馬木公民館をスタートし鳥上公民館を経由してゴールの役場横田庁舎を目指す、六区間二十三・九キロのコースで健脚を競いました。選手たちは、沿道からの温かい声援を受けながら、アップダウンのあるコースを懸命に走り抜きました。

## 第二回さくらおろち湖マラソン大会開催

さくらおろち湖周辺道路をコースとしたさくらおろち湖マラソン大会が、十一月十六日に開催されました。

第二回を迎える今大会は、小学生を対象とする二キロコース、中学生以上を対象とする十キロコースとハーフマラソンの三種目。元資生堂マラソン選手の眞鍋未央さんをゲストランナーに迎え、県内外から約三百人が参加しました。新たに設けられたハーフマラソンは高低差のある難コースでしたが、給水所ではスイーツが提供され、参加者は秋めいた湖畔の美しい景色を眺めながらマラソンを楽しみました。



▲一斉にスタート!

結果は次のとおりです。

- ◆第一部
  - 優勝 三成支部 (一時間十七分三十六秒)
  - 準優勝 阿井支部 (一時間二十四分四十二秒)
  - 第三位 鳥上支部 (一時間二十四分四十四秒)
- ◆第二部
  - 優勝 チームHC (一時間十七分四十五秒)
- ◆最優秀選手
  - 加藤 照瑛さん(三成支部)

## ミツバチの飼育は届出が必要です

ミツバチの飼育者の方は飼育届を提出することが規定されており、趣味で飼育する場合や特産市・百円市などに出荷している方も、飼育届の提出が必要です。該当の方は、平成27年1月19日までに役場農業振興課までご提出ください。

- ・飼育者は、適切な管理に努めることも定められております。
- ・飼育届用紙は、役場農業振興課の窓口で入手できます。

【お問い合わせ先】  
役場農業振興課農業生産グループ  
有線(31) 5285  
電話(54) 2513

## 2015年 農業センサス

統計調査にご協力ください

農林水産省・鳥根県・奥出雲町では、二月一日現在を基準日として「2015年農業センサス」を実施します。農業センサスは、農業の実態を明らかにし、国や都道府県、市区町村はもろろん各方面にわたって、広く利用できる総合的な統計資料を得るために五年ごとに実施される大切な調査です。一月初旬から皆様のところに調査員が訪問し、調査票に経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。

【調査対象】  
農家、林家、集落営農など農業を営んでいる個人や企業、事業所

【お問い合わせ先】  
役場 企画財政課  
有線(31) 5242  
電話(54) 2522